

令和4年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	27 公共交通 ー安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めますー			
重点プロジェクト					
主管課	都市政策部 都市計画課			評価責任者	山風呂 敏
				評価日	令和5年6月1日
関連課	障がい福祉課、高齢福祉課、子育て支援課				
目標	より安全で便利な公共交通機関となるよう改善を進めるとともに、利用しやすい公共交通ネットワークの整備を進めます。				
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 民間の公共交通機関との連携 ○東武鉄道や民間路線バス事業者に対し「東武東上線改善対策協議会」や「ふじみ野市地域公共交通活性化協議会」などを通じて、利便性の向上、駅・踏切施設の改善、バス停留所の安全対策などの要望を行います。</p> <p>(2) 交通結節点の機能強化 ○市内公共交通の利便性をより高めるため、上福岡駅東口の駅前整備を進めます。</p> <p>(3) 市内循環ワゴンの充実 ○より便利で持続可能な市内循環ワゴンを目指し、市民のニーズを把握した上で、必要に応じ運行ルートやダイヤの見直しなどを行います。</p>				

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	市内循環ワゴン乗客数					
		説明	目標値は達成したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、ピークであった令和元年度乗客数に達することはなかった。しかし、感染対策の効果等により、令和3年度からは約21%増加した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	41,579	42,956	44,333	45,710	47,088	48,465
		実績値	86,101	92,775	66,072	72,032	86,881	
	指標2	指標名	市内循環ワゴン利用者の満足度					
		説明	令和3年度、4年度において運行コース・ダイヤの見直しに係る検討を実施し、令和5年度運用開始後にアンケート調査を実施する予定である。					
		単位	%					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		実績値	-	-	-	-	-	-
	指標3	指標名						
		説明						
		単位						
	指標4	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値						
		実績値						
	指標5	指標名						
説明								
単位								
指標6	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	48,368	49,524	57,624	57,589	62,469	81,669
	人件費	0	0	1,612	18,281	18,320	18,281
収入	特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	48,368	49,524	59,236	75,870	80,789	99,950

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	市内循環ワゴンの運行コース・ダイヤの見直しに係る新運行計画の策定	学識経験者、交通管理者、道路管理者、関係する公共交通事業者、市民代表者等で構成されているふじみ野市地域公共交通活性化協議会において、令和5年4月からの運行開始を目途とした運行計画を策定した。	運行計画の見直しにより、現行の4コースを改善させたとともに、市役所本庁舎と大井総合支所を結ぶ新たなコースを誕生させた。これにより市内東西連絡性の向上、移動目的地への選択肢の増加、乗り残しの改善への寄与等による利便性の向上が期待される。	市内循環ワゴン運行事業
取組②	新型コロナウイルス感染症対策の実施	車内の換気・消毒、咳エチケット・マスク着用をお願いの車内掲示等徹底した感染対策を実施した。	徹底した感染対策を実施することにより、運休が一切なく運行を確実に継続させ市民の足に供することができた。	市内循環ワゴン運行事業
取組③				
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	利用者が安全・安心にご利用できるよう徹底した感染症対策を実施することにより、運行を確実に継続させ、市民の足に供することができた。 コース・ダイヤの見直しについては、利用者や市民の意向、安全性、利便性、コスト等を総合的に勘案した運行計画を策定することができた。これにより市内東西連絡性の向上、移動目的地への選択肢の増加、乗り残しの改善への寄与等による利便性の向上が期待される。また、バスロケーションシステムや交通系ICカード等キャッシュレス決済の導入に係る取組も実施し、利用者満足度の向上が期待される。 今後も持続可能な運行のため、乗降客の確保に引き続き努め、安全・安心に運行を実施するとともに、見直しの効果について検証していく。
おおむね順調	
行政資源の活用	
おおむね適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		交通政策推進事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	27 公共交通 ー安全で便利な公共交通ネットワークづくりを進めますー		
予算費目 一般会計 08土木費 01土木管理費 02交通安全対策費				
所管部課		都市政策部 都市計画課	評価責任者	田中 崇允
事務事業期間		昭和62年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等				
事務事業の内容	事務事業の目的	・民間路線バスと相互に補完する役割で市内循環ワゴン「ふじみん号」を運行し、本市における持続可能な公共交通ネットワークの維持・存続に寄与すること。 ・東武東上線の輸送力の増強及び鉄道施設の整備・改善を促進すること。		
	事務事業の経緯	・旧大井町で平成14年度から循環バスの運行を開始し、平成28年度に路線とダイヤを見直し、バスをワゴンタイプへ変更する実証運行を実施し、平成29年度に本格運行を開始した。 ・昭和62年に沿線市町村で発足した東武東上線改善対策協議会を通じて、東武鉄道株式会社に対して毎年度要望活動を行っている。		
	事務事業の概要	・市内循環ワゴンのコース、ダイヤ、料金の設定などについては、道路運送法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく会議体であるふじみ野市地域公共交通活性化協議会が掌握しており、市からの負担金を活用し、市内循環ワゴンの運営を行っている。なお、この協議会は、学識経験者、交通管理者、道路管理者、関係する公共交通事業者、市民代表等で構成されている。 ・東武東上線改善対策協議会を通じて、東武東上線の鉄道施設の改善について、毎年度要望活動を行っている。なお、東武東上線改善対策協議会は、和光市、朝霞市、新座市、志木市、富士見市、三芳町、川越市、ふじみ野市で構成されている。		
	令和4年度の主な取組	・多くの方々にご利用いただいている市内循環ワゴンの運行をより効果的に、そして持続可能なものとしていくため、令和3年度、令和4年度において、コース及びダイヤの見直しを実施するとともに、次期運行事業者の選定を実施したうえで、令和5年4月1日からの運行に向けた準備等の取組を実施した。 ・東武東上線改善対策協議会については、志木駅以北の複々線化、ホームドアの早期設置等をはじめとした要望活動に係る取組を実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2,30	2,30	2,30
		人件費	18,281	18,320	18,281
	再任用職員	従事人数(人)	0,00	0,00	0,00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0,00	0,00	0,00
人件費	0	0	0		
人件費計		18,281	18,320	18,281	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	10	9	13	
	委託料	5,168	11,492	0	
	使用料及び賃借料	23	12	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	52,388	50,954	81,651	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	1	1	5		
支出合計		75,871	80,788	99,950	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		75,871	80,788	99,950	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		663	708	865	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市内循環ワゴンの乗客数		
	説明	より便利で持続可能な公共交通を構築するために設定する		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	48,465	48,465	48,465
	実績値	72,032	86,881	
指標 2	指標名	利用者の満足度		
	説明	市民ニーズを反映した交通ネットワークを構築するために設定する。		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	99.50	99.80	100.00
	実績値	0.00	0.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>●市内循環ワゴンの運行 市内循環ワゴンの運行については、車内の換気・消毒の実施、咳エチケットやマスク着用に係るお願いの車内掲示等を行い、新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら運行を継続した。</p> <p>●市内循環ワゴンのコース・ダイヤ見直しに係る新運行計画の策定 本協議会において、市内循環ワゴンの運行をより効果的に、そして持続可能なものとしていくため、令和5年度からの運行開始を目途とした運行計画の見直し及び公募型プロポーザル方式による次期運行事業者の選定を実施し、令和4年11月に協議が整い、運行計画及び次期運行事業者が決定した。 運行計画の見直しにおいては、市内東西連絡性の向上、移動目的地への選択肢の増加、乗り残しの改善への寄与等による利便性の向上の追求のため、現行の4コースを改善させたとともに、市役所本庁舎と大井総合支所を結ぶ新たなコースを誕生させた。 また、バスロケーションシステムの導入、交通系ICカードによるキャッシュレス決済システムの導入を実施することとなった。</p> <p>●東武鉄道株式会社への要望活動 令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、書面による要望にとどまっていたが、令和4年11月に首長による対面での要望活動を実施することができた。</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>●市内循環ワゴンの運行については、令和5年4月からのコース・ダイヤ見直し後の運行においても、安全・安心に運行を実施するとともに、見直しの効果について検証していく。</p> <p>●東武東上線への要望活動に関する取組については、輸送力の増強及び鉄道施設の整備、改善を促進するために粘り強く要望を続けていく。</p> <p>以上により、持続可能な交通ネットワーク維持・存続に努めていく</p>
中長期的方向性	
継続	